

ABILITY  
DIVERSITY  
AI  
SECURITY  
NOVATION  
DIVERSITY  
SUSTAINABILITY  
CAR  
THE BEST SOLUTIONS WITH IT.  
CHALLENGE  
CARBON NEUTRAL  
CG  
NETWORK  
PLANNING & LOGISTICS  
INNOVATION  
SUPPORT  
COMMUNITY GLOBAL  
SUSTAINABILITY  
TECHNOLOGY  
SECURITY MOBILITY  
SUSTAINABILITY  
SERVICE SOCIETY  
IT  
TOWARD A MORE COMFORTABLE SOCIETY WITH DX. CHALLENGE  
SIMULATION  
VR



**TOYOTA SYSTEMS**



# 最適解を、ITで。

世界中の生産ネットワークをつなぎ、  
年間1000万台以上のクルマをつくる。

そのために「いつ・どこに・どれだけ」の部品があれば、  
もっともスムーズにつくれるのか。

無限にも近い可能性の中から、たったひとつの答えを導き出す。  
それも、トヨタシステムズの仕事です。



ITの発展がもたらす環境の激変による100年に1度の大変革期。

そんななか、劇的な世の中の変化が起こり、

ITのさらなる進化が求められています。

トヨタグループとしても、新しい働き方の定着や、

次世代モビリティサービスの開発・実証の本格化など、

DX・デジタル化が急務です。

私たちはトヨタグループのIT中核会社として、

求められる役割を果たすとともに、技術力、生産性を武器に、

情報を新しい技術とつなぎ、イノベーションに貢献します。

今後、AIを中心に技術はさらに進化していくなかで、

より人間力の高い人材の育成に取り組んでいきます。

そして、国際社会共通の目標であるカーボンニュートラル、

SDGsの実現に向けた取組みも一段と加速させ、

世の中のためになる真のITカンパニーを目指してまいります。

今後とも、ご支援・ご指導のほど、よろしくお願い申し上げます。

代表取締役社長

北沢 宏明

# ITで、 クルマと交通インフラの 快適な未来へ。

トヨタシステムズは、  
クルマづくりや新たなモビリティサービスの  
プラットフォームをITで支えます。

## クルマづくり

生産性・競争力の向上

500万人以上が携わり、年間1000万台を生産。出荷額は全製造業の20%を占める60兆円。日本経済の主役である自動車の開発・生産をITで支えます。



## MaaS

ITによる移動の最適化

「Mobility as a Service」。さまざまな移動手段にITを用いてシームレスにつなげ、交通を最適化。モビリティカンパニーの「移動」に関わるあらゆるサービスの開発・提供をIT技術で支えます。



## 街づくり

コネクティッドシティの実現

クルマと街の融合、社会全体をつなぐ「WovenCity(ウーブンシティ)」。技術やサービスの開発、実証等のサイクルを回し、新たな価値、ビジネス創出をIT技術で支えます。



## CASE

クルマの概念の大変革

「Connected, Autonomous, Shared, Electric」。新たな仲間づくりと社会課題の解決をキーワードに、モビリティの未来をIT技術で支えます。



お客さま目線での提案と抜群の技術力で、最適なITソリューションを提供します。

### PLAN



計画立案からの共創

経営課題等を現地でリサーチし、お客さまと共に方針・計画を立案。ゼロから共に創り上げていきます。

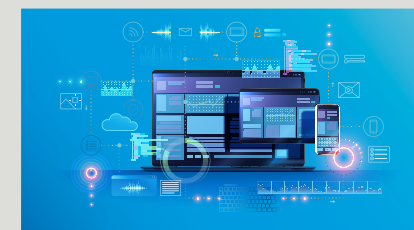
### PROPOSAL



研ぎ澄まされた最適な提案

要望や課題解決に向け、これまでの経験、ノウハウを活かし最適なITソリューションをお客さま視点で提案します。

### BUILD



圧倒的生産性、ダントツの技術力

社内外の高い技術力を結集し、安心・安全・安価なソリューションの構築を行います。

### COMMUNICATION



もっといいはとまらない

日々の活動、コミュニケーションを通じ、お客さまの要望、課題解決へ向けトータルサポートを行います。



## Contents

### 新規事業開発本部

「ITシンクタンク」として先端技術の研究開発を行い、技術提案や自らの技術力向上に取り組む。

- 1 トヨタグループのIT技術の向上へ、最先端をいち早くキャッチアップ。
- 2 コースに侵入する不審物をAIと画像認識で検知。テストコースの安全性を高める。

### エンジニアリング分野

最高のITサービスと技術で、トヨタ自動車のクルマづくりを支え、モノづくりの未来をつくる。

- 1 人とクルマのよりよい未来へ。リチウムイオン電池の性能向上を支える。
- 2 クリエイティブなCGで、トヨタグループの未来を切り拓く。
- 3 さらに生産性向上へ。MRを活用した次世代のモノづくり。
- 4 新たな開発方式を構築する、トヨタ式アジャイル開発への挑戦。
- 5 ビッグデータからバッテリー上がりをAIで予測し、事故を未然に防ぐ。

### コーポレート・ファイナンス分野

トヨタ自動車のコーポレート分野やトヨタファイナンスと一体となり、ITによる事業革新を実現する。

- 1 もっとエンドユーザーに寄り添うために、ITのチカラで販売店の業務改革に挑戦。
- 2 コーポレートシステムの全面リニューアルで、新しいビジネスに挑戦しトヨタグループの競争力を高める。
- 3 トヨタファイナンスを支えるシステムで、時代やライフスタイルに合わせた便利な金融サービスを提供。

### インフラ事業本部

事業に最新のIT技術を最適なカタチで導入することで、業務をサポートする。

- 1 世界中のトヨタグループをつなぐAll TOYOTA Global Network オールトヨタクラウドの構築。
- 2 低コストで高品質なセキュリティで、トヨタグループをグローバルに一括管理。
- 3 グローバルをシームレスにつなぐ新たなデータ授受サービスの構築。
- 4 新拠点の立上げにITインフラを構築。社内の総力を結集し、トヨタグループを支える。
- 5 業務のムダ削減と生産性向上へ。AIによるバーチャルアシスタント開発。

## 新規事業開発本部

「ITシンクタンク」として先端技術の研究開発を行い、技術提案や自らの技術力向上に取り組む。

トヨタグループのIT技術の向上へ、最先端をいち早くキャッチアップ。



トヨタグループのIT会社として、かつてないスピードで進化をつづける技術を社内に、グループ各社に伝えていくのもトヨタシステムズの重要な役割です。東京では毎日60以上の勉強会や、モーニングピッチや展示会など、最新技術に触れる機会があり、ブロックチェーン、AI、IoT、モビリティなどを中心に情報収集を行っています。課題を持ちながら、新技術をどう活用できるかをイメージし、事前検証までを行い、実務レベルに活用できるように伝えることで、グループに新たな風を吹き込みます。

2 コースに侵入する不審物をAIと画像認識で検知。テストコースの安全性を高める。



トヨタシステムズでは数年後の実用化を目指す技術の研究にも取り組んでおり、近年ではAIや画像認識に注力しています。その技術を駆使し、世界に先駆けて開発、実用化されたのが、テストコース上の不審物検知システムです。既存設備に接続して、カメラの画像からリアルタイムでコースを監視。そして、画像認識技術で動きを捉え、AI技術によりクルマか動物かを判断します。草木の揺れなどでの誤作動を起こすことなく、侵入した動物のみに反応し、遠方の小さな変化も的確に捉えることが可能です。シカなどの動物との接触を回避することで、安全を確保するとともに、試験車やコースが使えなくなることによる損失の発生を事前に防止します。トヨタ自動車の技術開発賞という高い評価をいただくこともできました。このAIと画像認識の技術を応用した、新たな技術開発にも取り組んでいます。







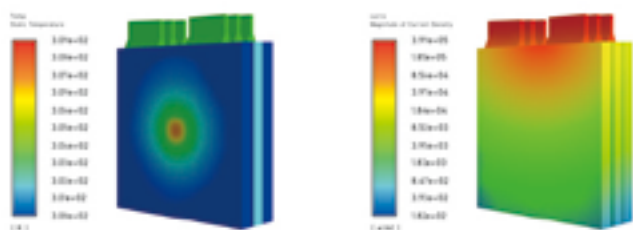
## エンジニアリング分野

最高のITサービスと技術で、  
トヨタ自動車のクルマづくりを支え、  
モノづくりの未来をつくる。

人とクルマのよりよい未来へ。

### 1 リチウムイオン電池の性能向上を支える。

環境や資源の問題解消へ、期待を集める電気自動車。しかし、航続距離や充電時間などの課題を抱えており、より高性能なリチウムイオン電池の開発が求められています。そこでの開発費用低減と期間短縮のためにシミュレーションが活用されています。電池の形状や材料の組み合わせをソフト上で検証し、安全性や性能など、事前に課題を潰しこんだ上で、実物による検証に進みます。私たちは常にエンジニアの傍らで仕事に寄り添っているため、よりよいソフトへと改良をつづけることができます。世界的な需要が高まりつづけるなかで高性能の電気自動車が求められています。そして、その実現に不可欠な全固体電池の開発にも、私たちのCAE技術は重要な役割を担っています。



▲ ANSYS Fluent®による解析事例

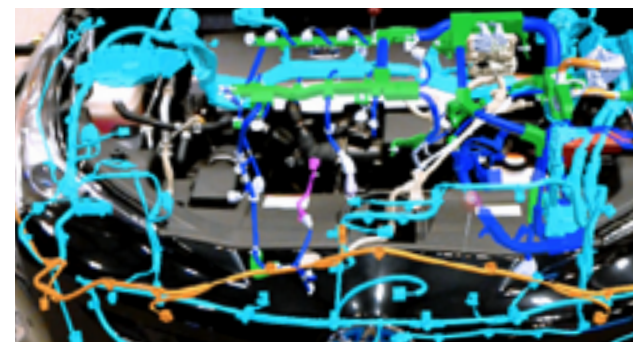
### 2 クリエイティブなCGで、 トヨタグループの未来を切り拓く。

映像などのコンテンツやモノづくりの世界で、これまで以上にCGの活用が進んでいます。私たちはクルマのCG制作を通して、高精細画像、動画、VR、AR、コンフィグレーターなどのコンテンツを美しく、正確につくる技術を培ってきました。これからは、その技術をさまざまな分野に応用し、自動車産業はもちろん、エンターテインメントや人と人のコミュニケーションといった幅広い領域で今までにないユーザー体験を提供していきます。未来に向けて、私たちの可能性は無限大です。



### 3 さらなる生産性向上へ。 MRを活用した次世代のモノづくり。

MRとはMixed Reality(複合現実)の略で、現実世界と仮想世界を重ね合わせる技術です。自動車開発ではさまざまなデジタル技術が用いられていますが、トヨタシステムズは生産技術にMRを適用させて開発期間の短縮、コスト削減に寄与しています。設備検討では実際の生産ライン上に新しい設備や開発車両のデジタルデータを重ね合わせて、設置性や作業性などを確認しています。そのままバーチャル空間で組付け作業を体験できるので、姿勢に負担が無いかどうかもその場で判断できます。細かい作業においても、これまで図面と照らし合わせていたものが、デジタルデータを重ね合わせることでミスを減らし、スピーディーに進めることができます。データと実物いずれかのみでは難しい判断も、このようにMRがそれらをつなぐことで解決し、新たな時代のモノづくりを牽引していきます。



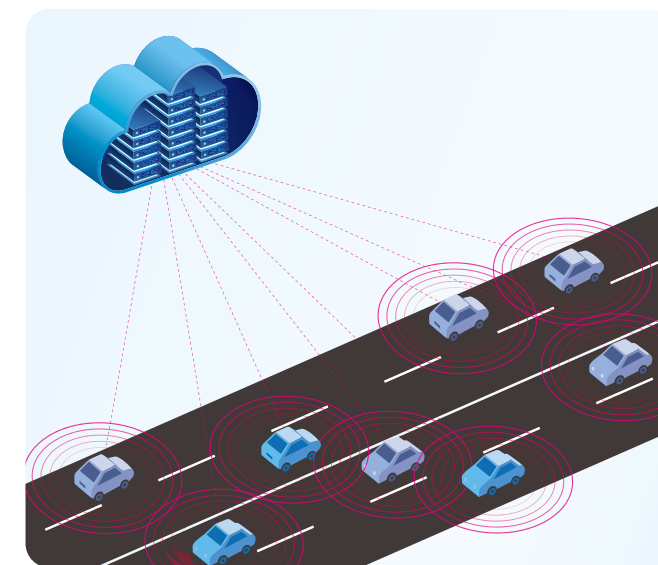
▲ エンジンルームの配線をMRで表示

### 5 ビッグデータからバッテリー上がりをAIで予測し、事故を未然に防ぐ。

あらゆる分野で活用されるビッグデータ。クルマがネットワークにつながるようになり、トヨタシステムズでもデータ解析によるユーザーの利便性向上に取り組んでいます。トヨタ自動車のデータセンターには、毎日膨大な量の走行データが集まります。そのデータを加工、解析してAIに学習させることで、バッテリー上がりを事前にディーラーへと通知するシステムを開発しました。テスト用のデータをどのように扱えば、やりたいことを実現できるのかを考え、計算式を立て、数千を超える変数を調整し、AIを構築。AIも使い方次第でその有効性に大きな差が出ます。私たちは、現場でエンジニアと突き合わせて議論を重ねながら性能の向上に取り組んでいます。今後もデータは増えつづけるため、車種ごとのさらに正確な通知など、より安全なクルマ社会を実現します。

### 4 新たな開発方式を構築する、 トヨタ式アジャイル開発への挑戦。

変化のスピードの速い現代では、開発方式も変化を求められています。これまでは『トヨタシステム開発マネジメント』という本に沿って開発を行ってきました。しかし、より変化に強く、実用性の高いシステムにするため、トヨタ自動車ですべてアジャイルという方式での大規模システム開発に挑戦しました。従来は設計書をつくり、試作、テストと2、3年かけてつくりますが、その間に世の中に変化が起き、完成したころには既に要件が変わっていることもありました。しかしアジャイルでは設計書をつくらず、とにかくつくります。その分、変化を要件に組込むことが可能です。仕様書もコードに含まれ、コードさえ書かないローコードツールを使用します。スピード感を重視するために、5、6人のチームにはトヨタ自動車の方も一員として参加。決裁者も常駐することで、その場での即決が可能です。チームごとの議論が活発に行われ、専用ルームの壁はポストイットに埋め尽くされています。アジャイルの主要な開発方法であるスクラムは、実はトヨタウェイ・トヨタ生産方式が源流です。この取組みは決してトヨタ自動車の過去を否定するものではなく、実績を踏まえた「いいとこどり」と考えています。課題に直面しても、自分たちができないはずがないと挑戦しつづけました。そして、トヨタ流アジャイルをブラッシュアップし、新たな開発方式として明文化してグループに広げていきます。





## コーポレート・ファイナンス分野

トヨタ自動車のコーポレート分野やトヨタファイナンスと一体となり、ITによる事業革新を実現する。

### 1 もっとエンドユーザーに寄り添うために、ITのチカラで販売店の業務改革に挑戦。

時代の流れにより、消費者とクルマとの関係性は大きく変わってきています。若者のクルマ離れが叫ばれ、クルマは所有するものから、利用するものへ。そして、自動運転やモビリティをサービスとして捉えるMaaSなどのビジネスモデルの変化。さらには、トヨタ店やネット店などすべての店舗で全車種を購入できるチャネル併売の開始。購入せずとも毎月定額を支払うことでクルマを所有できるKINTOやトヨタシェアなど新たなサービスの導入と、その動きはディーラーのあり方も大きく変えようとしています。そのなかで、トヨタシステムズはシステムの刷新により、全国に約5,000店舗ある販売店の業務改革に取り組んでいます。トヨタ自動車にとって、販売店は消費者との最大の接点。その改革は、売上げやブランドへの愛着を大きく左右します。そのため、トヨタ自動車や販売会社のもとを訪問し、現場の課題をヒアリングの上で、企画を提案。事務作業に忙殺され、お客さまとの商談時間が限られているという大きな課題に対しては、音声入力による営業日報の記入や、システム上でお客さまの名前を選択するだけで自宅までのルート表示などを導入し、徹底的に無駄を省くことを追求。サービススタッフは

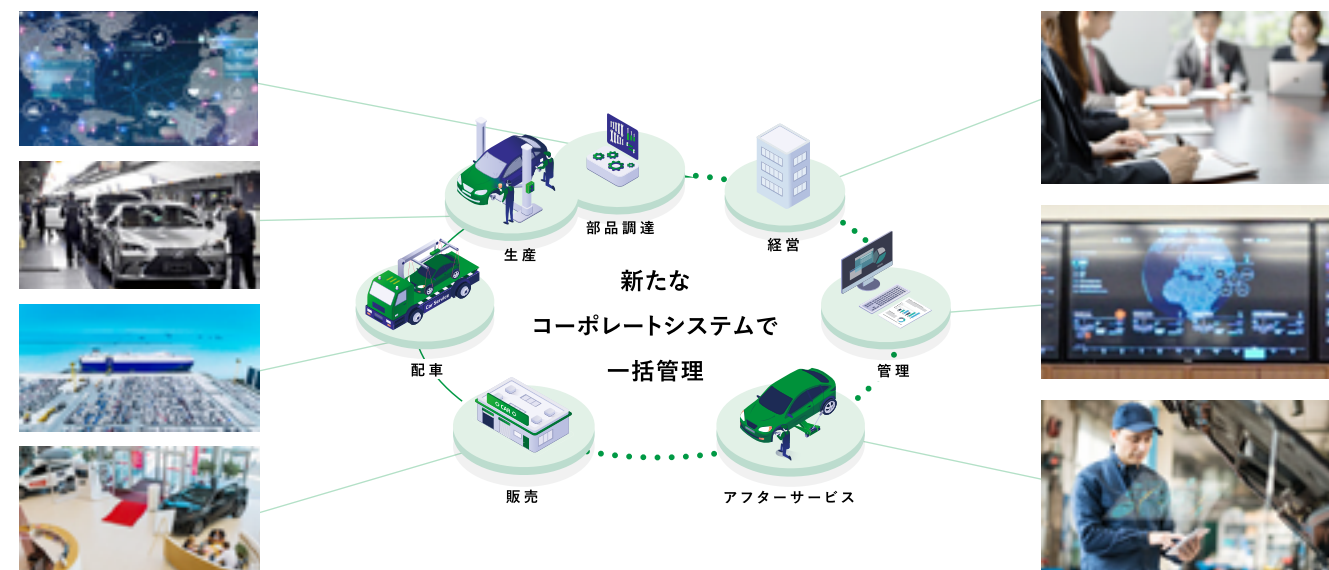
電子カルテの導入により、点検・修理の際に来店前からお客さまのクルマの状態を把握することが可能に。生産性の向上とともに、お客さまの待ち時間を減らすことができます。また、システムそのものも、これまではなるべく多くの要望を反映させてきましたが、その結果肥大化、複雑化が起きていました。今回はよりコンパクトにシステムの柔軟性を保つことを重視。ユーザーによるカスタマイズを可能にし、その事例を店舗間で共有することで、競争力を高めることも狙っています。消費者にとってよりよいトヨタ自動車であるために、ITでサポートを行っていきます。



## 2 コーポレートシステムの全面リニューアルで、新しいビジネスに挑戦しトヨタグループの競争力を高める。

トヨタグループの自動車の生産、その業務は多岐にわたります。素材や部品の調達にはじまり、生産したクルマの配車、販売、アフターサービス、企業としての管理、経営。開発・設計以外のほぼすべてに関わる、ビジネスの根幹とも言えるシステムを長年支えてきたのがトヨタシステムズです。それぞれのオフィスはもちろん、世界中の工場でも使用されており、その規模は世界最大級とも言えるものです。そして現在、そのシステムの全面刷新に取り組んでいます。システムのアーキテクチャーを最新のものに置きかえていくことに加え、トヨタグループのビジネスが変わるなかで、機能の強化、生産性の向上が求められています。

そのため、アジア、アメリカ、ヨーロッパといった各地域の統括会社との調整を行い、新たな機能を追加し、不必要な機能を削除。ITによる事業革新を起こせるように、AIの活用など数多くの提案を行っています。また、それはシステム開発コストの削減にもつながり、機能の整理に加えて、自動コンバージョンや自動コーディングなどで生産性を高め、従来コストの半分の開発を目指しています。私たちは超上流工程での企画提案や海外での駐在など、100年に一度の大変革期に自動車メーカーからモビリティカンパニーに生まれ変わり、業界のトップを走りつづけるために、すぐそばでトヨタグループの業務を支えています。



## 3 トヨタファイナンスを支えるシステムで、時代やライフスタイルに合わせた便利な金融サービスを提供。

トヨタグループでは、金融サービスも展開しています。幅広い事業領域を持つトヨタファイナンスのシステム開発・インフラ運用をトヨタシステムズは担っています。現在、ポイント利用に加えて、キャッシュレスなど決済方法に大きな変化が起きています。クレジットカード事業では、カーライフを中心にお客さまのライフスタイルを応援する「TS CUBIC CARD」。さらに、少額決済サービス「QUICPay」や、スマホ決済サービス「TOYOTA Wallet (TS CUBIC Pay)」、「Apple Pay」など、安心・安全・便利なキャッシュレス社会実現のために、システム開発・インフラ運用が欠かせません。販売金融事業では自動車購入時の割賦システムを担い、販売店との機能連携や顧客利便性に向けたシステム開発を実施しています。早く・安くサービスを提供する

ニーズに対して、開発方法の見直しなど、私たちに求められることも大きくなっています。また、新たな付加価値サービスを目指したデータ活用やブロックチェーン技術の適用検討にも携わり、企画・構想から参画し、お客さまのもっと便利なライフスタイルをシステム面で支えていきます。







## インフラ事業本部

事業に最新のIT技術を最適なカタチで導入することで、業務をサポートする。

### 1 世界中のトヨタグループをつなぐ All TOYOTA Global Network オールトヨタクラウドの構築。

自動車メーカーからモビリティカンパニーへと生まれ変わるトヨタ自動車。その変化に対応するために、これまで以上に関係各社が一丸となって、シナジー効果を高めていく必要があります。そこで私たちは、世界のグループ各社の垣根を取払い、協業を加速するため、すべてをシームレスにつなぐネットワーク構築に取り組んでいます。その規模は、トヨタグループはもちろん、部品メーカー、生産工場、販売店も含めて、15,000か所以上の拠点をつなぐ世界最大級と言えるもの。また、より機密性の高いトヨタシステムズ独自のクラウドを展開することで、インフラ効率の向上、コミュニケーションの円滑化、コスト最適化を実現。トヨタグループが一丸となるために、欠かせないインフラです。



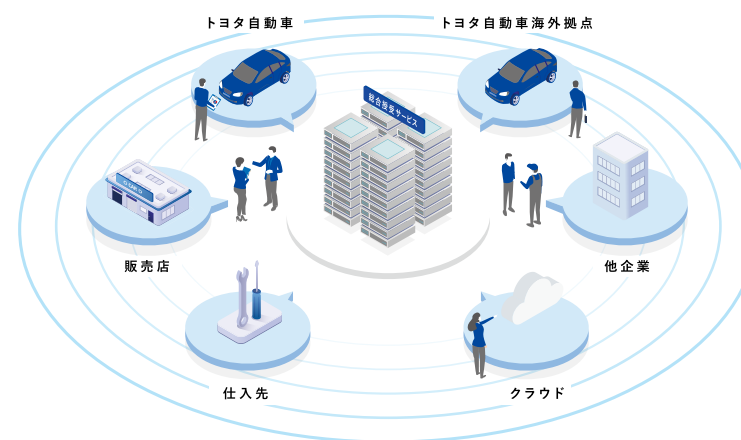
### 2 低コストで高品質なセキュリティで、トヨタグループをグローバルに一括管理。

世界中でサイバー攻撃が急増しているなかで、その脅威からトヨタグループを守るセキュリティの一元監視・管理を、トヨタシステムズは担っています。グループ各社とミーティングを重ね、グループとしてのセキュリティガイドラインを策定。トヨタセキュリティ監視センターから世界中のグループ各社を監視し、被害を未然に防止しています。高い技術力と多くのリソースが必要なサイバーセキュリティ対策を、効率的かつ効果的に提供し、グループ全体のセキュリティレベルを担保しています。トヨタシステムズがグループの重要な企業資産を守りつづけます。



### 3 グローバルをシームレスにつなぐ 新たなデータ授受サービスの構築。

トヨタ自動車は国内外のグループ、関係会社など、さまざまな会社との連携のもと、モノづくりに取り組んでいます。そこで欠かせないのが、電子データの授受。従来は各社で異なるサービスを使用しており、管理が非常に複雑な状態になっていました。そこで、業務のさらなる効率化を目指して、国内外でトヨタグループ共通のデータ授受サービスの構築に取り組んでいます。すべてのグループ会社、関係会社を共通のサービスでつなぐことで、国内・海外、システム・人の境目なくデータ交換が可能に。世界中で行われる情報交換の場を提供し、授受でつながれた新たなコミュニティと未来を創造します。



### 5 業務のムダ削減と生産性向上へ。 AIによるバーチャルアシスタント開発。

私たちはPC上のバーチャルアシスタントの開発へ向けて、AIの研究に取り組んでいます。目指すのは、一人ひとりに寄り添うバーチャルアシスタント。煩雑な作業を豊富な知識でサポートし、社員には本来の業務に集中してもらいたい。そんな思いからプロジェクトは始まりました。現在はFAQチャットボットとして社内のポータルサイトに導入されており、社内システムの使い方や書類申請などにおいて、疑問の早期解決をアシストしています。そして、より役立つアシスタントになれるよう、部署を超えた協力により、日々改善を行っています。社内の予定調整と会議室予約の自動化、社内の有識者の検索などの機能を追加し、よりよい新しい働き方の実現に寄与していきます。

### 4 新拠点の立上げにITインフラを構築。 社内の総力を結集し、トヨタグループを支える。

100年に一度の大変革期を乗り越えるために、トヨタグループはグループの再編に取り組んでいます。統合や新たな研究施設の開設に伴い、新しい拠点が次々と立上がっています。その新拠点でのITインフラの構築を一挙に引き受けているのが、トヨタシステムズです。ITが業務に欠かせないものになっている以上、その構築が生産性、働き方など、すべてを支えるといっても過言ではありません。新拠点の立上げに際しては、経営層に近い距離で企画を行い、ネットワークやアプリ、セキュリティなどの根幹から末端までを個別のニーズに合わせて提案。その後の運用サポートまでを担当します。強固なセキュリティを重視するものもあれば、自由で開放的な働き方を目指すものもあるなど、会社の色に応じたITインフラを構築します。一人ひとりの働き方から、会社の経営までをITで支える、とてもやりがいのある仕事です。



## 会社概要

### Company Profile

● 社名	株式会社トヨタシステムズ	● 資本金	54.5億円
● 名古屋本社	〒450-6332 名古屋市中村区名駅1-1-1 JPタワー名古屋32F TEL : 052-747-7111 FAX : 052-747-5222	● 従業員数	3,119人(2022年4月1日時点 派遣社員含む)
● 東京本社	〒108-0075 東京都港区港南1-8-23 Shinagawa HEART14F TEL : 03-5877-2111 FAX : 03-5877-2555	● 売上	1,547億円(2021年度実績)
● 設立	2019年1月1日	● 関係会社	トヨタ自動車株式会社 トヨタファイナンス株式会社
		● 出資比率	トヨタ自動車株式会社 100%出資

### 経営

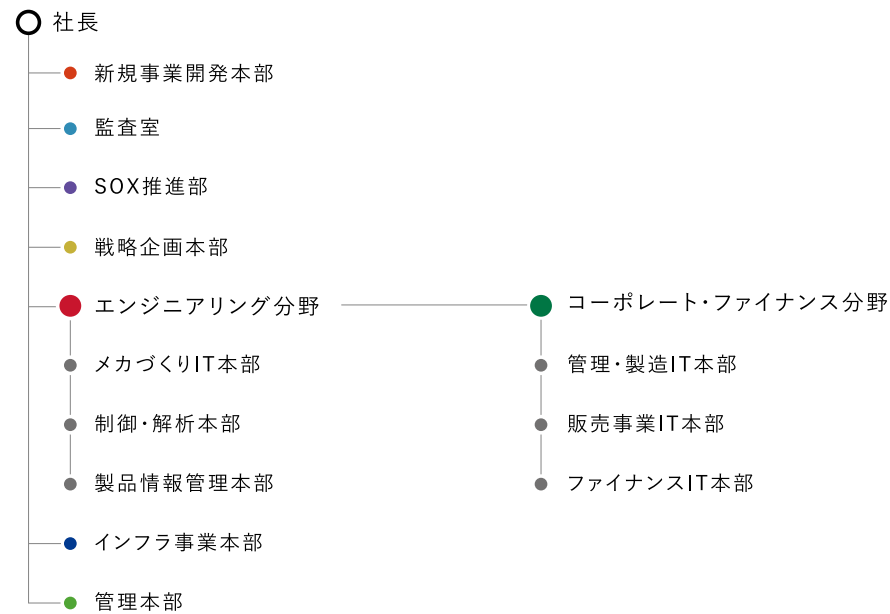
代表取締役社長	北沢 宏明	常勤監査役	飯田 正典
取締役	川添 浩史	監査役	酒井 誠二
取締役	細川 昌宏	監査役	加藤 浩次
取締役	加納 尚		
取締役(非常勤)	岡村 達也		

### 本部長

新規事業開発本部	川添 浩史	管理・製造IT本部	伊藤 雅史
戦略企画本部	政本 二郎	販売事業IT本部	佐藤 弘資
メカづくりIT本部	真鍋 秀章	ファイナンスIT本部	寺内 勝彦
制御・解析本部	伊藤 慎吾	インフラ事業本部	細川 昌宏
製品情報管理本部	稲垣 篤	管理本部	大仲 啓介

## 組織図

### Organization chart



### 主要取引先

株式会社豊田自動織機 / 愛知製鋼株式会社 / 株式会社ジェイテクト /  
トヨタ車体株式会社 / 豊田通商株式会社 / 株式会社アイシン /  
株式会社デンソー / トヨタ紡織株式会社 / 東和不動産株式会社 /  
株式会社豊田中央研究所 / トヨタ自動車東日本株式会社 / 豊田合成株式会社 /  
日野自動車株式会社 / ダイハツ工業株式会社 / トヨタホーム株式会社 /  
トヨタ自動車九州株式会社 / トヨタモビリティ東京株式会社 /  
株式会社東海理化電機製作所 / フタバ産業株式会社 / 豊田鉄工株式会社 /  
愛三工業株式会社 / 林テレンプ株式会社 / 小島プレス工業株式会社 /  
トヨタ自動車北海道株式会社 / プライムアースEVエナジー株式会社 /  
トヨタ輸送株式会社 / トヨタモビリティサービス株式会社 / 株式会社FTS /  
大豊工業株式会社 / トヨタコネクティッド株式会社 ほか

## 国内拠点・営業所

### Domestic Offices

1	名古屋本社	〒450-6332 名古屋市中村区名駅1-1-1 JPタワー名古屋32F	TEL:052-747-7111
2	東京本社	〒108-0075 東京都港区港南1-8-23 Shinagawa HEART14F	TEL:03-5877-2111
3	栄オフィス	〒461-0001 名古屋市東区泉1-23-22 トヨタホーム栄ビル7F	TEL:052-952-8700
4	名駅オフィス	〒451-0045 名古屋市西区名駅1-1-17 名駅ダイヤメイツビル8F	TEL:052-728-8111
5	高岳オフィス	〒461-0002 名古屋市東区代官町35-16 第一富士ビル8F	TEL:052-728-8701
6	豊田オフィス	〒471-0027 豊田市喜多町1-140 ギャザビル5F	TEL:0565-99-7000
7	刈谷営業所	〒448-0025 刈谷市幸町2-5-7 NOMURA BLDG 3F	TEL:0566-56-1235
8	大阪営業所	〒532-0004 大阪市淀川区西宮原2-1-3 SORA新大阪21 8F	TEL:06-6399-5005
9	九州営業所	〒812-0016 福岡市博多区博多駅南1-3-6 第三博多借成ビル10F	TEL:092-260-9205
10	東北営業所	〒980-0021 仙台市青葉区中央3-2-1 青葉通プラザ14F	TEL:022-265-6355

## 海外拠点

### Overseas Offices

1	ドイツ (デュッセルドルフ) ベルギー (ブラッセル) イギリス (ロンドン)	Toyota Tsusho Systems Europe GmbH
2	シンガポール	TOYOTA TSUSHO SYSTEMS SINGAPORE Pte. Ltd.
3	タイ (バンコク)	TOYOTA TSUSHO SYSTEMS (THAILAND) CO., Ltd.
4	インド (バンガロール)	TOYOTA TSUSHO SYSTEMS INDIA Pvt. Ltd.
5	インドネシア (ジャカルタ)	PT. TOYOTA TSUSHO SYSTEMS INDONESIA
6	中国 (北京) (天津) (上海) (広州) (成都) (常熟)	Toyota Tsusho Systems China
7	アメリカ (ダラス) (デトロイト)	TOYOTA TSUSHO SYSTEMS US, Inc.

● トヨタ自動車 海外各エリア総括管理会社



CHALLENGE  
 SUSTAINABILITY MIXED REALITY  
 INNOVATION  
 CARBON NEUTRAL  
 LOW-CODE  
 IT TOWARD A MORE COMFORTABLE SOCIETY WITH DX. SOLUTION  
 NETWORK  
 DIGITAL TRANSFORMATION  
 PLANNING  
 TECHNOLOGY  
 MOBILITY  
 PLANNING  
 MOBILITY  
 DIVERSITY  
 GLOBAL  
 TOWARD A MORE COMFORTABLE SOCIETY WITH DX.  
 CAR  
 COMMUNITY  
 THE BEST SOLUTIONS WITH IT.  
 SUPPORT  
 CARBON NEUTRAL  
 SUSTAINABILITY  
 DIGITAL  
 TRANSFORMATION  
 SOLUTION  
 TOWARD A MORE COMFORTABLE SOCIETY WITH DX.  
 MOBILITY  
 SOLUTION

**TOYOTA SYSTEMS**

トヨタシステムズはB.LEAGUEに所属するプロバスケットボールチーム『アルパルク東京』を応援しています。

Welcome to  
IT company.

